

グローバルの普遍性について

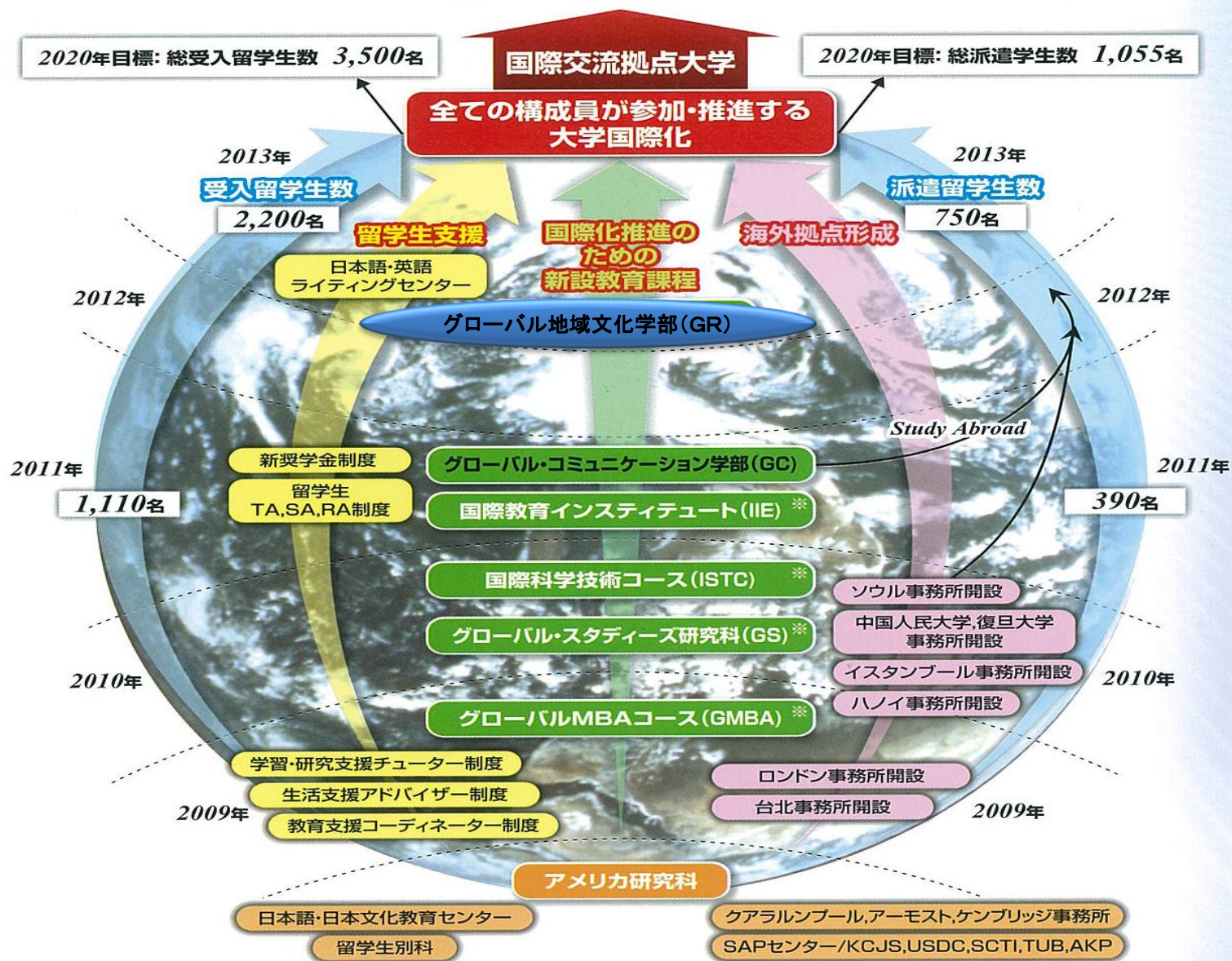
同志社大学前副学長・前国際連携推進機構長
文学部教授
龍城 正明, Ph.D.



同志社大学
Doshisha University

同志社大学のグローバル化政策

国際化拠点の概念図



※英語のみで学位取得できる教育課程

国際 とは

国と国との接する境目(際)、即ち、**国境に束縛された**概念であり、英語でも international となる。
(inter (～の間) + national (国家))

グローバル とは

国境を越えた「地球規模」の概念である。
これが地域という、これも国境を越えた概念と一致する。(Oneness)

「普遍性」

- 1 すべてのものに通ずる性質。
- 2 すべての場合に当てはまる可能性。
- 3 永遠に変わり得ぬ実態。

「グローバル」

国境を越えた「地球規模」の概念。
すべてのものに通じる性質。

グローバル = 普遍性？

文化の普遍性

「人が個人名を持つ」「家族・家庭を構成する」「所有権をもつ」「年齢・地位による階層」など

言語の普遍性

「母音と子音の存在」、「名詞と動詞（主部と述部）の存在」など

宗教の普遍性

「神の存在を讃える」「敬虔な信者になる」

- 英伊語の名詞の数の概念
- *Ivano ha mangiato **molti spaghetti** ieri sera.*
- Ivano ate **spaghetti** last evening.
- *Piero ha comprato **un mobile**.*
- Piero bought **a piece of furniture**.
- *Luisella ha pettinato i suoi **capelli**.*
- Luisella combed her **hair**.

間接的命令形 比較 Indirect command

Japanese	Chinese	English
手荷物に保険をかけている場合は、保険会社にも申請をしてください。	假如您已為行李購買私人保險，您亦須向保險公司提出索償要求。	If you have private insurance coverage for your baggage, a claim should also be lodged with your insurance company.

- Type: Japanese – Modalization, English & Chinese - Modulation
- Japanese – **direct command** in requestive mood **politeness marked**
- Chinese – **indirect command** with high value of modality **須 must**
- English – **indirect command** with median value of modality **should**

Value of modality (cf Halliday & Matthiessen, 2004:623)

フランスではできるだけフランス語独自の表現を用いることが推奨され、英語からの外来語は極力抑えられている。

climatisé (air-conditioned),

DC (disque compact; CD),

SIDA (Syndrome d'immuno déficience acquise; AIDS)

因みに 日本語でなぜ「後免不全症」と呼ばないのか。

中国語も表記は当然ながら漢字であり、外来語の発音は許容するも、独自の語彙を生んでいる。

噴射機(ジェット機)、电视(電視テレビ)、全球(グローバル)

汽油(ガソリン) 街头汽油加油站 (ガソリンスタンド)

贝拉克·奥巴马(バラク・オバマ)、美国(アメリカ)、

伊丽莎白二世(エリザベス二世)、

查爾斯(威爾斯親王)(チャールズ(ウェールズ皇太子))

宗教の普遍性とは

- 1 「神の存在を讃える」
- 2 「敬虔な信者になる」
- 3 「布教を行う」

X が 宗教的空白地域へ侵略

X と Y との 対立

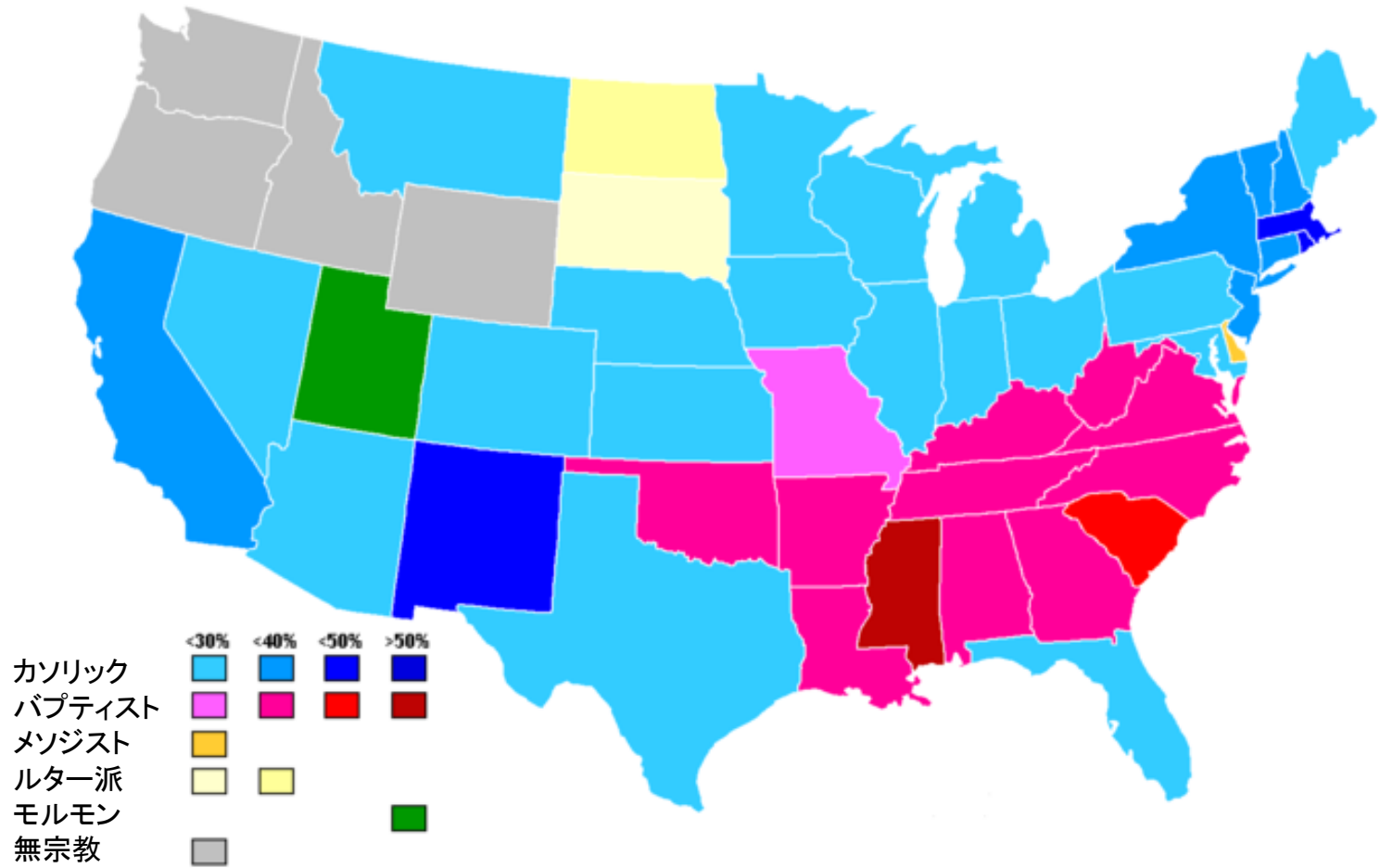
X と Y との 紛争 > 宗教戦争へ

宗教の現状

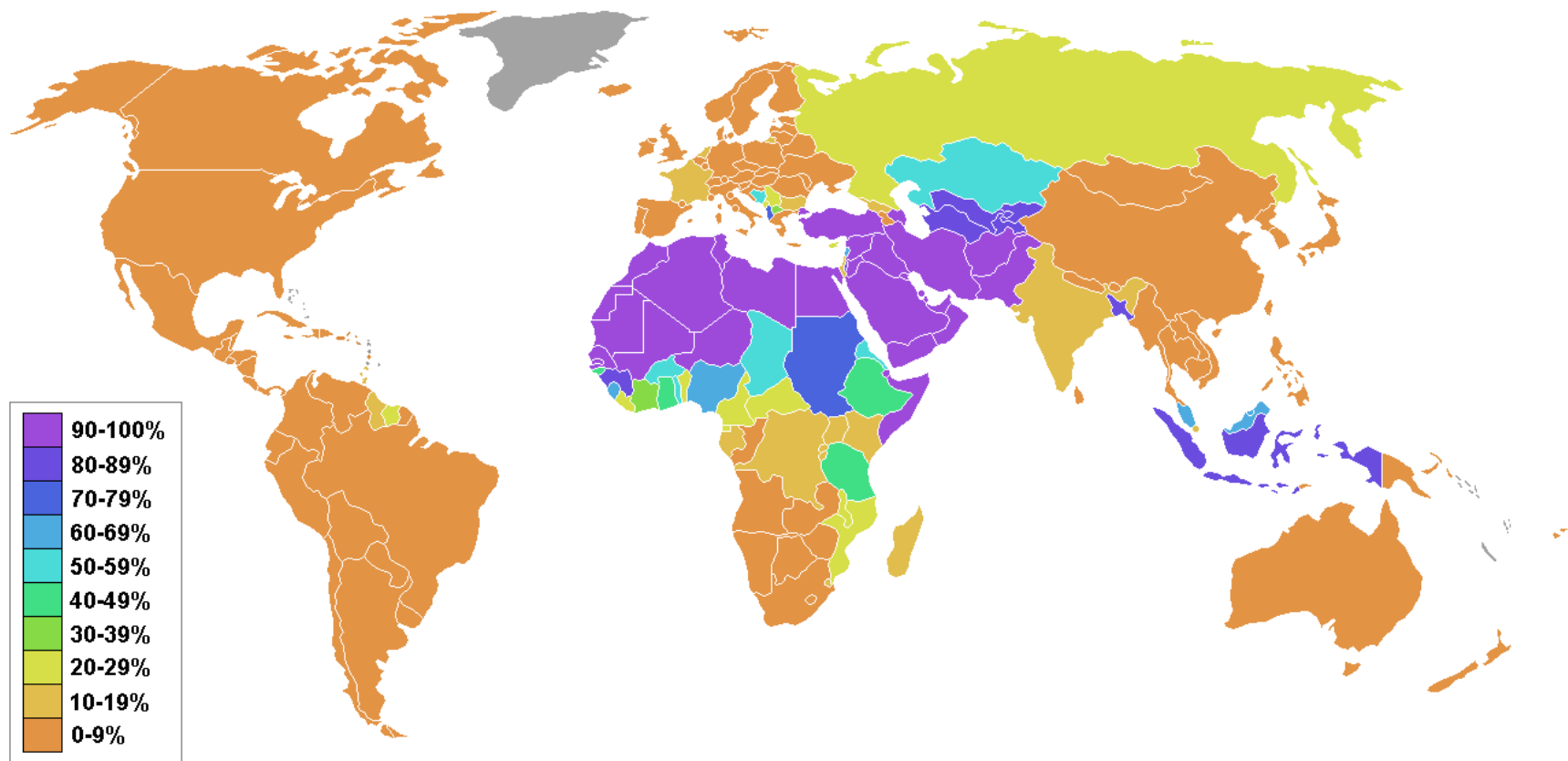
宗教	人口	割合	
キリスト教	2254000000	33.4%	0.33394572
イスラム教	1500000000	22.2%	0.22223539
ヒンズー教	900000000	13.5%	0.13334124
無宗教	769000000	11.4%	0.11393268
中国の伝統的な宗教	387200000	5.7%	0.05736636
仏教	384000000	5.7%	0.05689226
土着	270300000	4.0%	0.04004682
無神論	148300000	2.2%	0.02197167
新宗教	107000000	1.6%	0.01585279
シーク教	23800000	0.4%	0.00352613
ユダヤ教	15090000	0.2%	0.00223569
心霊主義	13660000	0.2%	0.00202382
バハーイ教	7860000	0.1%	0.00116451
儒教	6410000	0.1%	9.4969E-04
ジャイナ教	5570000	0.1%	8.2523E-04
道教	3370000	0.1%	4.9929E-04
神道	2780000	0.0%	4.1188E-04
ゾロアスター教	180000	0.0%	2.6668E-05
その他	1340000	0.0%	1.9853E-04
合計	6749600000		



アメリカの基督教宗派分布



世界のイスラム教分布



日本人は信仰が薄いと言われている。

深刻な宗教戦争は歴史の中で起こっていない。

日本では、キリスト教人口は約300万人程度で、明治維新以後1%を超えたことはない。

2008年のNHK放送世論調査書が行った調査では

「宗教を信仰している」	39%
「宗教を信仰していない」	49%

アメリカのキリスト教徒は80%。

カソリックとプロテスタントは半々の数。

決して単一宗教国家ではない。

イスラム教徒は、世界人口の22.2%

ユーラシア大陸およびアフリカに広く分布。

南北アメリカでさえ、その人口はゼロではない。

政教分離という観点からは

アメリカ、フランス、トルコ、メキシコ、日本など。

融合型(国教制度)

英国、バチカン市国、デンマーク、ノルウェー、ギリシャ、サウジアラビア、イラン(宗教と国家が深く結びつく)など。

言語は3000～4500という数が世界に存在

文化は西洋と東洋に分かれる

宗教はキリスト教、イスラム教、神道、仏教、ヒンズー教など。特にキリスト教は、カソリックとプロテスタント。イスラム教もスンニ派とシーア派など、細分される。＞

キリスト教文化 と イスラム教文化

グローバル人材（Global Competence）に求められる能力とは？

- ・要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力
- ・要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感
- ・要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

グローバル人材育成推進会議 中間まとめより

各大学で規定

生きる力、耐える力、チームワーク力
等を重視している

しかし、この中で真に必要なのは3要素では

1. 「コミュニケーション能力」
2. 「主体性」
3. 「日本人としてのアイデンティティー」

Linguistic competence & linguistic performance

Competenceとは、言語能力

Performanceとは、言語運用

Performance にも explanatory competence と
persuasive competence が必要。

芸やプレゼンができて、**相手を納得させる能力、
説明能力**がなければならない。

決して外国語能力(英語)を言うのではない。

外国語も native と同じような発音や文法が正しい言語を必要とするのではない。言語とは、社会的相互作用 (Social interaction) である。

英語がグローバル・イングリッシュになるなら、それは各地域の言語差も取り入れた変種をも容認した言語となる必要がある。

グローバル社会で、Japanese Englishを積極的に推し進めることは、言語能力ではなくコミュニケーション能力の向上につながる。

個人の宗教観や思考回路を確実なものにする。

自分のあるべき立場を理解し、自身の立場を主張し、相手を説得する能力を養う。

日本語

音声、語彙（特に大和言葉、漢語）、文法などの言語的正しい知識

日本文化

伝統芸能＝能、歌舞伎、邦楽、華道、茶道
スポーツ＝柔道、剣道、相撲、弓道

日本史（特に近現代史の正しい理解）

初等教育から高等教育まで母語である日本語のみで教育が可能な国であることの認識

母語の重要性

変わり得ぬ状態

現状を変えることはできるのか？ → 難しい

その中でのグローバル化は一つの挑戦である。

決して何かを基準としてそれに向かって行くのではなく、個々が持っている**変わり得ぬ力**を保持していくことに他ならない。

グローバル化の普遍性とは、何かに擦り寄り、迎合するのではなく、**個々をいかに尊重するか**を以て策定される政策と言えるのではないか。

Global CompetenceからGlobal Perspectiveへ

Global Competenceとは、
コミュニケーション能力、主体性、日本人としての
アイデンティティーを持つこと。

Global Perspectiveとは、
GCを持って、自国を正しく理解した上で、グローバルな観点から、他国との協調性を探り、個々の関連を認識した上で、物事を全体的に把握する能力。
それを持って、今後の自国のあるべき姿を展望し、視点の多様性を涵養し、それを総合的に把握する力。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1. 大和言葉 | やわらかい | とりやめ |
| 2. 漢語 | 柔軟 | 解約 |
| 3. 外来語 | ソフト | キャンセル |

日本語訳が存在しない外来語

アイデンティティー(≡同一性; 英語)、
瓦(サンスクリット語)、 ガラス(ポルトガル語)、
ブログ(web log; 英語)、 ネット(≡網; 英語)

日本語には多くの外来語が存在する。それに対して禁止や回避運動は起こっていない。

人生の中で、
お宮参り、七五三は 神社(神道)
結婚式は 教会(キリスト教)
葬儀は お寺(仏教) 94%
キリスト教 (1%)

政府の資料では信仰をもつ国民は
207,183,223人を数え、日本の人口の2
倍近くいることになる。

神道系が約1億700万人、仏教系が約8,900万人、
キリスト教系が約300万人、その他約1000万人、

2008年12月31日時点

- 「おもてなし」とは
 - 相手に礼を失しないよう、相手を尊重する
 - 相手の立場を尊重する。
 - 自分の立場を正しく相手に伝える。
 - 自分の立場を理解させる。
-
- 「お・も・て・な・し」も
半分に！！



ご清聴有難うございました。